

民友クラブ行政視察個人別報告書

平成30年5月18日(金)

報告者:村上 なおき

1. 平成30年5月14日(月) 広島県呉市での行政視察

【調査項目】『呉市公園屋台事業』について

【公園屋台事業の背景と目的】長年、屋台が利用者に親しまれ、市民生活と調和したものとなるよう誘導し、呉市の公園屋台事業が、観光の振興及び賑わいづくりに資することを目的としている。

【屋台事業の概要と経緯】呉市の屋台は昭和40年代当時は堺川沿いの道路区域で営業していたが、昭和40年9月の道路交通法改正により、屋台営業が禁止となった中、屋台組合・呉警察・呉市の3者協議により、蔵本通りに、28店舗集約し、警察は道路使用許可を出した。その後の平成13年に「屋台活性化懇談会」を設置し議論を重ね設置個所を公園区域に設置した。



公園屋台前

市庁舎議会棟玄関

【調査して参考すべき点】呉市と同様、知立市もかつては、駅南の明治用水沿いに屋台が20店舗ほど設置されており、賑わいをきわめており、市民の憩いの場として親しまれていました。

知立市も呉市のように、市民の方々からかつてあった屋台のあり方について様々な、ご意見をいただき『懇談会』などを設置して、観光の一助につながる屋台の復活に取り組むべきだ！！

2. 平成30年5月15日(火) 福岡県大牟田市での行政視察

【調査項目】『大牟田市のシティプロモーション事業』について

【シティプロモーション戦略の策定】シティプロモーションを進めるにあたり、基本となるコンセプトやターゲットを明確化するとともに、それを全市的に共有することによって『選ばれるまちおおむた』の実現に向け、市の総力を挙げて取り組むことができるように策定したもの。

【取り組みの背景】人口減少社会への対応(地方創生に向けたに向けた取り組み)・・・大牟田市のマイナスイメージを情報発信することにより、プラスのイメージに変える・・・取り組みへ。

【取り組みの方向性】『暮らすのにいいまち』を軸としたプロモーションにより、新しく行動を起こす時の候補地となるまち。



大牟田市庁舎前

ジャー坊

【調査して参考になった点】今回の事業で特に参考になった点は、事業を始めるにあたり、明確かつ理解し易い戦略の策定を行い、全市的な共通認識のもと、取組まれておられる事は・・・当市も見習い、言葉だけの取り組みでなく、基本戦略を策定し計画的に進めるべきであると思われる！

3. 平成30年5月16日(水) 福岡県太宰府市での行政視察

【調査項目】『太宰府市の景観計画事業』について

【景観計画の概要】太宰府市では、市民・事業者及び行政の協働により、豊かな自然と多くの文化遺産を生かし、古都の風情と都市の生活が調和した景観を守り・創り・育てていくまちづくりを進めており、平成22年度に『太宰府の景観と市民遺産を守り育てる条例』に基づき景観計画を策定し、良好な景観形成のためのルールを定めた。そして、運用開始から5年を経過した平成28年に内容の見直しを行い、市内で建設行為を行う場合は、この景観計画の内容に沿った建築物等の計画・設計をお願いすると共に一定規模以上の建築行為等は、事前協議と行為届が必要となる。



太宰府市庁舎前

委員会室

【調査して参考になった点】今回の事業で特に参考になった点は、事業を始めるにあたり、条例に基づき、自然と文化遺産を良好なものにすべく、景観を見据えながらのまちづくりは、計画を練り上げたものであり、当市も歴史と文化を活かしたまちづくりをすべきだと・・・痛感・・・した！！